

のみ社会福祉法人連絡会とのタウンミーティング

日 時 令和6年7月31日（水）17:45～18:45

会 場 辰口福祉会館 交流ホール

テーマ インクルーシブシティ

参加人数 41人

1) 開会

2) 市長 市政報告

○はじめに

・根上り七夕まつりに合わせて、商工会青年部の皆さんが能登の復興・復旧を能美市からも応援したい、祈念したいということから、輪島市の白米千枚田の「あぜのきらめき」で冬期間飾られている「ペットボトル」約25,000本を借り受けて、根上総合文化会館の芝生広場でイルミネーションを行っている。太陽光によるLED発光装置であり、日没とともに約4時間程、4色に色を変えながら点灯する。大変幻想的で鮮やかな光景が広がっているので、ぜひお立ち寄りいただきたい。

○課題と方針

・人口減少、少子・高齢化、社会インフラの老朽化があげられる。また、自然災害が発生しており、一昨年は大雨、今年は地震の被害があった。そのほか、様々な課題があるが、市役所と市民の皆さんが一緒になって「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」を目指して取り組んでいる。

○令和6年度施策・方針・目的

・事業・施策の7本柱と5つの方針・目的を掲げ、全てが移住・定住の促進につながるように取り組んでいる。自治体の勢いを示す様々な数値があるが、私は人口が重要だと思っている。人口を維持している、あるいは伸びている自治体は勢いがあり、様々な施策が成功しているので、市民に選ばれ、市外から移住してくる人も多いということである。

・人口増には、社会増と自然増の2つ要素がある。引っ越し人よりも引っ越してくる人が多いと社会増となり、亡くなる人よりも生まれてくる赤ちゃんが多いと自然増となる。今、能美市は自然減で社会増となっていて、総体的に足し引きすると、残念だが人口が少し減っているような状態が続いている。それを何とかするため様々な取り組みを行っている。

○令和6年能登半島地震

・皆さんの中にも被害を受けたり、ご親戚やご友人が亡くなられた方もいらっしゃるのではないかと。改めて、ご冥福をお祈り申し上げ、お見舞いを申し上げます。

・罹災証明書発行の届出が約1,500件あった。特に大きな被害としては、緑が丘の市道のり面崩落により、道路が70m程にわたって陥没したことが挙げられる。このほか、坪野町の美化センターののり面が崩落したり、市内にある神社の燈籠や石碑が倒壊したりしている。また、産業面では九谷焼の被害が大変大きかった。

・1月3日からワンストップ窓口を開設し、被害を受けた市民の皆さんが1か所で様々な問い合わせや手続きを行え、相談もできるように体制を整えた。

・奥能登へ消防士や保健師に加えて、避難所サポートのため職員派遣を行い、消防車や救急車、給水車、パッカー車等の車両派遣も行ってきた。また、市民の皆さんから寄せられた支援物資もお送りした。

・1月中旬から二次避難者の受入れを始めた。体調を崩した方や、支援の必要がある方も多く、医療関係者の皆さんやケアマネージャーさんにサポートいただいた。市が設営した避難所や市内の知人や親戚のご家庭等に約250名の方が一時、避難されていた。しっかりと最後まで心に寄り添い、支援をしていきたいと思っているので、皆さんにもご協力、ご支援をいただきたい。

・避難者の皆さんの様々なお困りごとにしっかりと対応できるように、サポート窓口も開設した。

○第9期いきいきプラチナプラン

・現在、第9期いきいきプラチナプランの見直しを始めたところであり、令和6年から令和9年の事業を、このプランに基づき進めていく。今日はこのプランを軸に、能美市の施策等を皆さんにご報告をさせていただく。

・65歳以上の人たちを対象にするプランの名称が「シルバー」では良くないと、「プラチナ」に変えた。65歳になってもばりばり元気な人や、80歳になっても現役の人もいらっしゃるので、元気な高齢者には頑張ってもらって、少し元気ではない人たちを支えてもらう、そういうプランにしようと、名称を「いきいきプラチナプラン」に変えて、今年度から運用を始めている。プラチナ世代の人たちに何をやってもらうか、どう活躍してもらうかということが、今回のプラチナプランの理念であり目標である。

・介護認定の状況については、増加傾向が少し緩やかになってきており、微増はしているが、全体の傾向からすると大きく増えている状況ではない。これは皆さんのいろいろなご尽力の賜物であると思っている。

・いきいきプラチナプランの施策は「①個々の意欲・能力を生かし元気に活躍することができる」、「②心身機能の維持・向上を図り自分らしく生活できる」「③市民・地域・関係機関・行政の連携による支援体制の充実」、「④医療と介護と保健の連携体制を構築する」、「⑤安定的な介護保険制度を運営する」の5つに分かれている。

○健康づくり、交流の促進《ハード》

・健康福祉センター「サンテ」を改築し、広げた。これまで健康をチェックする場所と子育てを支援する場所が混在していたが、色分けをして使いやすいようにした。最新の機器を入れてほしいという要望から、IHクッキングヒーターやInBody等の機器も備えた。ぜひ一度お越しいただき、どのような設備があるか確認をしていただければと思う。

・能美市立病院に健診センターを開設した。また、泉台町のクアハウスN9の隣と道林町のパークゴルフの施設の隣に新しくインクルーシブパークをつくり、障がいを持った子どもたちも遊べる遊具を充実させた。

・今、設計段階ではあるが、亀齢荘を地域共生交流館としてリニューアルし、高齢者、障がい者、お子さんたちが集って、楽しんでもらえるような場所に建て替える。とても良質で高温のお湯が出るので、それを活用した施設にしたいと考えている。

・市民がウォーキングで使ったり、小中学生が通学路で使ったりしている、北陸鉄道能美線跡の健康ロード約16kmについて、能美電が開通して100年、廃線して45年、能美市誕生20

周年の節目である2025年に合わせて秋までに順次整備を進めている。

○健康づくり、交流の促進《ソフト》

・がん検診やDWIBS、PETの検診を受ける場合、市から補助を出し、個人負担額を少し下げようとした。DWIBSは、他では受けられないような検査であり、施設の充実も図り、健康増進のバックアップをしていこうと考えている。また、今、日本人の2分の1ががんに罹患すると言われていたが、いかに早期発見をして、早期治療をするかが大切であり、がんに対してしっかりと知識を持ってもらおうと、健康教室も積極的に開催している。

・能美市誕生20周年を迎えることから、町会・町内会の皆さんにも何らかの健康づくりや交流促進をしてもらおうと、僅かばかりであるが、支援金を出させてもらっている。

・保育園の民営化については、これまで市内に15の公立の保育園があったが、民営の幼児教育を受けたい、民営ならではのいろんな経験、体験をしたいという声があったことから、まず、福島町の保育園を初めに民営化させていただいた。大変評判が良く、他でも広げてほしいとの要望を受け、さらに2つの保育園を民営化し、現在建築中である。

・昨年度から、市内の小中学校に通っている生徒、児童全ての学校給食の無償化を行った。加えて、これまで旧根上町、旧寺井町は自校式の給食であったが、学校の施設が大変老朽化していることから、安全・安心でおいしい給食を食べてもらおうと、学校給食センターを新たに造り、明日、いよいよオープンを迎える。すばらしい施設となっているので、もし興味がある方はお申し出いただき、ぜひ見学をしていただきたい。

・幸福度や暮らしやすさ等を市民に調査したウェルビーイング指標によると、能美市の強みは「住宅環境」や「子育て」、「自然の恵み」等であったが、弱みは「買物・飲食」「遊び・娯楽」「移動・交通」であった。しかし「遊び・娯楽」の部分では、市内には、辰口丘陵公園や手取フィッシュランド、アドベンチャーガーデン能美、いしかわ動物園等があり、県内でこれほど揃っている市町は他にないと思う。「買物・飲食」も、のみ商業協同組合の加盟店が多く有り、ドラッグストアも最近増えてきている。また、福島グランパーク内に約7haの商業施設も造られる予定である。ただ、皆さんの様々な意見を聞くと、ハンバーガーが食べたい、映画が見たい等の声があるので、能美市にはない施設を必要とされているのではないかと思います。

・能美市を選んでいただくには、働く場所も必要であり、企業誘致にも積極的に取り組ん

できた。また戦略的に誘致することによって、様々な職種の働ける場所が増えている。

○能美スマートインクルーシブシティ構想

・インクルーシブというのは、誰一人取り残さない、仲間外れにしないという意味であり、デジタルの力を使って様々な取り組みを行おうというのが、スマートインクルーシブシティ構想である。

・デジタル公民館のために、市内に約80ある公民館にW i - F i を整備した。高齢者はいきいきサロンやスマホ教室、子育て世代はe スポーツ体験、Chromebookを持った子どもたちは学習のために公民館へ来て、多世代間の交流ができる場にしようとしている。また、公民館は避難所になることが多いので、マイナンバーカードによる避難所受付を行ったり、監視カメラをつけて子どもたちの登下校の見守りをチェックしたり、周辺の川が増水していないか確認できるようにしたりしようと考えている。

・現在、公民館でのオンライン診療も計画している。例えば高血圧や糖尿病の方は、毎月1回お医者さんに行って診察を受け、薬をもらってるが、高齢者になるとなかなか病院まで行きづらいということから、公民館でカメラを使ってお医者さんの診察が受けられるようにしようとしている。

・スマート物流にも取り組み始めており、買い物に苦労されている方がスマートフォン等から自分が欲しいものを注文すれば、公民館に注文した物が届くような仕組みを構築しようとしている。市内で5つぐらいのモデルの公民館を決めて、そこから始めて様々なことを検証し、順次市内全域に広げていこうと考えている。

・これまで紙で更新していた、福祉見守りあんしんマップをデジタル化し、見守りを必要な方々の生活状況を民生委員の間で共有できるようになった。

・I o T家電を使った見守りにも取り組んでいる。空気清浄機やエアコン等により、室内環境をリアルタイムで把握することができ、もしもの際には、家族やケアマネージャーに通知される仕組みとなってる。また、将来的にはI o T家電が、能美市からの避難指示や気象警報等も知らせるようにしようとしている。

・東日本大震災のときに多くのカルテが流され、診療情報がわからなくなってしまうということが発生したので、能美市内の病院、クリニックの皆さんに協力をいただきながら、カルテを電子カルテとして共有化しようとしている。

・能美市では、紙のハザードマップで避難所等を示しているが、避難時にまず持っていく

ものはスマートフォンなので、デジタル化を進め、スマートフォンでハザードマップや防災情報を確認できるようにしようとしている。

- ・地域通貨の導入にも取り組んでおり、広報に掲載したり、郵送したりしていた「のみ応援特典券」等を電子で皆さんにお届けできるようにしようとしている。また、市民の皆さんがどのようなものをどこで買っているか等、データ分析を行い、どのようなお店がどのような場所に必要なのか、市民の移動状況を見ながら様々なことに役立てようと考えている。

- ・交通弱者を対象にしたライドシェアを行う予定である。スマート物流で公民館まで届いたお米やお酒、しょうゆ等の重い荷物を高齢者が持って帰ることは難しいので、そこをライドシェアでカバーしようとしている。病院やお風呂への行くのも、公共交通だけではなく、ライドシェアを活用しようと考えている。

○サービス基盤の確保

- ・福祉人材確保の制度をつくった。能美市内で介護職員として新たに就職された方に、家賃補助金を出しており、1か月当たり最大5,000円を補助している。また、介護のお仕事応援金として、10万円を補助するようにしているので、ぜひご活用いただき、人材の確保につなげていただきたい。

- ・物価・エネルギー高騰、災害復旧への支援にも取り組んでいる。

- ・民生委員・児童委員さんに多くの活動を行ってもらっているが、報酬が県内の他の市町よりも少し低めであったことから、少し上乘せを行わせていただいた。

- ・重層的な支援体制を整えるため、市職員や民生委員・児童委員、町会長・町内会長、ケアマネージャー等、皆さんと様々な協議をする場所を設けていただいている。社会福祉協議会がその中核となって様々な活動を行っているが、さらに充実を図りたいと考えている。今年度は、支援員さんを支援する体制を整備していこうと考えている。これまでは、支援員さんと市民との触れ合いの場所をどうワンストップでやるか、どんな場所を設けるかということに取り組んできたが、支援員さんの存在がますます重要になっており、お一人の支援員さんに多機能のことをやっていってもらっていることから、支援員さんを支援する体制をさらに充実をしていく必要があると考えており、基幹相談支援センターを今年度設けさせていただく予定である。

○危機管理体制

・デジタルの力を使って多くの皆さんに必要な情報をタイムリーに届けようとデジタルハザードマップに取り組んでいる。

・これまでは県が定めた人数をもとに避難物資を準備していたが、令和6年能登半島地震を受けて、災害備蓄品を増やした。これまでトイレと哺乳瓶が3日分の備蓄であったものを、7日分を増やした。そのほかの備蓄品についても、専門家のアドバイスもいただきながら、何をどれだけ充実させていくのが一番適切か検討していきたい。

・あらゆる自然災害や24時間365日避難対応ができるよう、個別避難計画の作成を進めており、身体が不自由な人や高齢者等が災害時に取り残されずに避難できるようにしようとしている。まずは大雨被害が想定をされるエリアから先行でつくり始め、順次広げていきたいと思っているが、様々な想定や作業が必要な計画であり、ぜひ皆さんのご支援、ご協力もお願いしたい。

・これまで防災行政無線を使って、様々な市の情報を流してきたが、情報をいつでもどこでも受け取れるようLINEを導入した。災害情報だけではなく、様々な能美市の情報も簡単に取得することができるので、まだ登録されていない方はぜひお友達登録していただきたい。

3) 質疑応答、意見交換

質問・意見1

【参加者】 能美市と近隣市町のホームページをすべて見た。その自治体がどういう目線で住んでいる市民の方にサービスを提供しようとしているのか、アクセシビリティがどのくらい良いのかということが、ホームページを見るとかなり分かる。正直に言って、能美市は断トツに良かった。特に、困っている人がホームページを見たときに、どれくらい自分が欲しているサービスにたどり着けるかという目線で見ると、能美市が一番分かりやすく、困っている場合にどうすれば良いか、どういうことをしてくれるのか等、全体図がよく前面に出ていて非常に良かった。

【井出市長】 ありがとうございます。

質問・意見 2

【参加者】福島グランパークに新しい商業施設ができるということで、個人的な希望であるが、若い人が働いて、子育てもそこですとなると、子どもたちを遊ばせるような室内の大きなアスレチックの施設があったら良いと思う。また、自分の世代でも健康に関心が出てくるので、スポーツジムのようなものをできれば誘致していただけるとありがたい。

【井出市長】同じお声がたくさん届いおり、どのような施設がふさわしいのか、また皆さんのお声を聞きながらご希望に応えられるように取り組んでいきたいと思う。

4) 閉会